

『信州の教師 基礎・基本』の発刊に寄せて

長野県教育委員会 教育長 武田 育夫

信州の教師たちは常に事実を追究してきた。教育はすべて事実からであり、実際からであるとしてきたからである。

この『信州の教師 基礎・基本』は62名の信州の実践者による、子どもを真ん中に置いた事実と実際が結集されたものである。教師の基礎・基本とは何か、と論じる前に、信州の教師たちの実践に触れ、教育とは、教師とは、と沈思したくなる本である。

この本から信州の教師たちの対話が生まれ、信州教育がさらに進化することを期待する。

信州の教師 基礎・基本 ウェルビーイング Well-being 29 のアドバンス

■ A5判・並製・カバー装 ■ 152ページ ■ 定価 1700円（税込み）

発行 一般社団法人
信州教育出版社
〒380-0846 長野市旭町1098 TEL 026-232-0291

取扱い 株式会社
しんきょうネット
本社 〒380-0846 長野市旭町1098 TEL 026-233-1135

ご注文は、しんきょうネットまで

FAX フリーダイヤル：0120-25-1098

信州の教師 基礎・基本 注文書

下記のとおり注文します。

ご注文日：令和 年 月 日

《学校関係の方》

学 校 名	学校
注文責任者氏名	

《学校関係以外の方・長野県外の方》

電 話 番 号	
お 届 け 先 ご 住 所	〒

注 文 者 氏 名 (公用の場合は「公用」と記入)	注 文 冊 数

【学校関係以外・長野県外のお客様へ】

※別途送料がかかります。お支払いは、郵便振替となります。

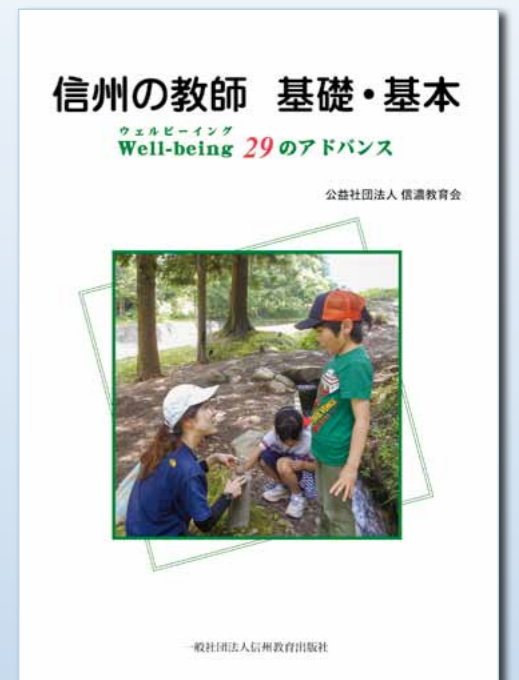
※FAXフリーダイヤルは、長野県内のみです。県外よりお申し込みの場合は、

E-mail：sales07@shinkyo-net.co.jp または、TEL：026-233-1135 までお願いいたします。

信州の教師 基礎・基本

ウェルビーイング
Well-being 29 のアドバンス

教育を担う教師が身につけておきたい教師としてのマインドや授業の基礎・基本とともに、信州の教育として大切にされてきた子ども観や授業観にふれ、教師としての夢を育む。



A5判 / 並製 / カバー装 / 152ページ
定価 1700円（税込み）

編集 公益社団法人 信濃教育会
発行 一般社団法人 信州教育出版社

『信州の教師 基礎・基本』の刊行にあたり

公益社団法人 信濃教育会 会長 大日方 貞一

本書に収められている一つ一つの「基礎・基本」は、子どもたちと真正面から向き合い、悩み、考え、実践を重ねてきた先輩教師の歩みそのものです。そこには、時代が変わっても揺らぐことのない、教師としての確かな軸が息づいています。

教師を目指す学生や教師として歩み出した先生方にとっては、日々の実践の道標として、また、長らく教壇に立たれてきた先生方にとっては、これまでの歩みを振り返りこれからの教育を見つめ直す契機として、本書が皆様方に寄り添う存在となることを願っています。

第1章 教師という職業を選んで

- 1-1 やりがいをもつ教師
- 1-2 清明の心をもつ教師
- 1-3 学び続ける教師
- 1-4 先人に学ぶ教師
- 1-5 信頼される教師

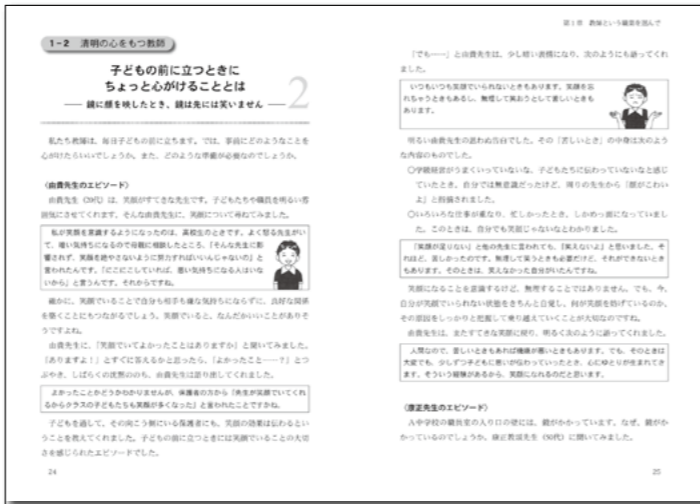
コラム1 元教師から今の教師に伝えたいこと
～教え子とのかかわりからみえた「教師の魅力」とは～

コラム2 保護者から先生方へ
～応援してます！～



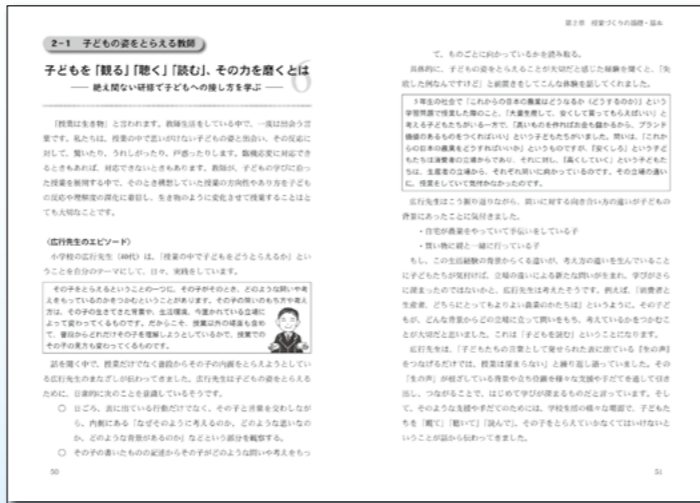
第1章では、先生方が教師としてのやりがいや喜びを感じる時、壁にぶつかって苦しいとき、どんなことを意識していたかにふれることで、教師という仕事の魅力を再確認します。

第2章では、子どもも先生も楽しいと思える授業の秘訣に迫ります。登場する先生も、もっとこうすればよかったと振り返りながら実践を深めています。先生方の具体的な取り組みに学びながら、明日からの授業のヒントを探してみましょう。



第2章 授業づくりの基礎・基本

- 2-1 子どもの姿をとらえる教師
- 2-2 教材研究を楽しむ教師
- コラム3 「個別最適な学び」ってどんな学び
- 2-3 板書を考える教師
- 2-4 話し合いを深める教師
- コラム4 授業での社会活動への参画
- 2-5 授業を楽しむ教師
- 2-6 子どもの発言を大切にせる教師
- 2-7 ICT 機器を活用する教師
- 2-8 評価を生かす教師
- コラム5 総合的な学習の時間



第3章 集団づくりの基礎・基本

- 3-1 集団づくりの重要性を知る教師
- 3-2 年度当初の大切さを知る教師
- 3-3 学級目標を生かす教師
- 3-4 クラスの日常活動を支える教師
- コラム6 サインだけ？ 委員会顧問の仕事
- 3-5 話し合い活動を支える教師
- 3-6 子ども一人一人を大切にせる教師
- 3-7 子どもが中心となる活動を仕組む教師
- 3-8 環境づくりの重要性を知る教師

第3章では、子どもが安心して生活でき、個性が尊重され、一体感や達成感が得られる集団を育てることについて焦点を当てています。

学級目標を根付かせるには、子どもが納得する話し合いをするには。総合的な学習の時間で、子どもが中心となる活動をするには……先生方の実践を読み、周りの方々と語ってみましょう。

第4章では、子ども、先生方、保護者、地域の方々との信頼関係について考えます。懇談会や学級通信で心がけていることや工夫、通知表の書き方への悩み……等身大の先生方のエピソードから、自分の実践を深化させるアイデアを探っていきましょう。

第4章 信頼される教師をめざして

- 4-1 保護者との信頼関係を大切にせる教師
- 4-2 懇談会のもち方を知る教師
- 4-3 子どもの姿を積極的に発信する教師
- 4-4 通知表のあり方を知る教師
- 4-5 地域とのかかわりを大切にせる教師
- 4-6 子どものためのほめ方・叱り方を知る教師
- 4-7 子どもへの接し方を知る教師
- 4-8 同僚との良好な関係を築ける教師
- コラム7 教職員による主体的な研修
(小学校の先生方の実践例)



Well-being な学校生活を送るための提案を、「アドバンス」として各テーマの末尾にまとめています。

また、先生方の実践を紹介し、応用のヒントにもなるコラムや、教師としての世界が広がるおすすめの本の紹介も収録！

